

## 機器紹介 >>>>

平成 27 年度に設置した機器を紹介します。

### 「側方照射型軟 X 線装置」

公益財団法人 JKA の補助金の交付により整備されました。

#### 【概要】

ステレオタイプの X 線発生器を用いて、塑性流動などの動的現象を三次元で可視化することができる装置です。さらに、電子部品等の内部をマイクロフォーカスで高精細に透過撮影し、CT 機能で立体画像を得ることができます。

【メーカー】：コムスキャンテクノ社

【型式】：ScanXmate-D130SS105 Dual

#### 【仕様】

- (1) X 線管電圧：130kV(max)ステレオタイプ
- (2) X 線管電流：0.3mA(max)
- (3) 管球焦点：5  $\mu$  m(min)
- (4) 検出器：125 × 125mm  
フラットパネル
- (5) 加圧装置：10kN(max)
- (6) 検体設置台：X 軸 ± 80mm  
Y 軸 ± 100mm  
Z 軸 200mm 移動  
360° 回転

側方照射型軟 X 線装置の周知と利用促進を目的に、3 月 23 日に当センターで X 線可視化セミナーを開催し、20 機関 36 名の参加がありました。内容は、以下のとおりでした。

#### ① 講演

「発展を続ける X 線検査技術の最前線」

コムスキャンテクノ株式会社 菊池一夫氏

#### ② 講演

「側方照射型軟 X 線装置の機能」

コムスキャンテクノ株式会社 富塚貴史氏

#### ③ 実演

X 線 CT 撮影と塑性流動の 3 次元観察の 2 班に分け、撮影デモを行いました。

セミナー終了後、個別相談として持ち込み部品の X 線 CT 撮影を行いました。



側方照射軟 X 線装置



講演の様子



見学の様子

### 「2段式エアテーブル」

【概要】比重の異なる素材からなる粉粒体を、空気の上昇気流等の作用で比重選別する装置です。

【メーカー】：原田産業(株)

【型式】：比重差選別機

【仕様】

- (1) 粉体処理能力：最大300kg/h
- (2) 測定物：比重の異なる素材からなる粉粒体
- (3) 設備：エアテーブル2台，集塵機2台



2段式エアテーブル

### 「ローラミル粉砕装置」

【概要】10mm以下の粉粒体を回転ローラによる圧縮粉砕により、ミクロン単位までの粉砕を行う装置です。

【メーカー】：IHIプラントエンジニアリング(株)

【型式】：IS-150 ミル

【仕様】

- (1) 自動原料供給装置：5kg/h～200kg/h
- (2) ローラ：直径150mm，2個



ローラミル粉砕装置

### 「ローラミル分級装置」

【概要】高速回転気流の働きにより、ローラミル等で粉砕された原料を粒径に応じて分離する装置です。

【メーカー】：IHIプラントエンジニアリング(株)

【型式】：IS-150 セパレータ

【仕様】

- (1) 処理ガス温度：最大80℃程度
- (2) セパレーター回転数：最大1200rpm



ローラミル分級装置

### 「蒸気吸着測定装置」

【概要】水銀や窒素より小さい水分子の吸着から試験体の細孔分布や吸湿・放湿特性等を評価する装置です。

【メーカー】：カンタクローム・インスツルメンツ社

【型式】：Vstar2-WRT-kgs

【仕様】

- (1) 測定温度：-20～100℃
- (2) 配管温度：40～110℃
- (3) 測定ステーション数：2個



蒸気吸着測定装置